



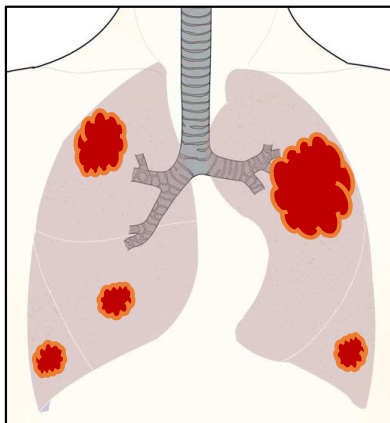
Type I MET阻害剤に耐性を獲得した肺癌に対する有効な治療法の開発

キーワード 肺癌、MET exon 14 skipping遺伝子変異、がん治療、MET阻害剤、耐性克服、Precision Medicine

【研究内容の概要】

MET遺伝子変異陽性肺癌において、Type I MET阻害剤に耐性を来した肺癌に対して、Type II MET阻害剤の一種であるforetinibが有効な治療法となることを発見しました。

Type I MET阻害剤に耐性となったMET遺伝子変異陽性肺癌



MET D1228またはY1230残基における耐性変異 (+)

	D1228X	Y1230X
foretinib	効果あり	効果あり
他のType II MET阻害剤	効果なし または 乏しい	効果あり

- ・ METの1228番目のD(アスパラギン酸)、または1230番目のY(チロシン)残基がX (他の種類のアミノ酸) に置き換わると、Type I MET阻害剤に強い耐性を生じます。
- ・ 二箇所のアミノ酸残基における耐性変異に対して、foretinibはいずれも強いMETシグナルの阻害活性を有しています。
- ・ これらの耐性変異は、一つの腫瘍から混合して生じるため、両方の変異に阻害活性を有するforetinibが有効な治療法となることが期待されます。

特徴/効果

- ・ 臨床で既に使用されているType IのMET阻害剤に耐性を来した場合でも、再び有効な治療の機会を提供できます。
- ・ METシグナルに依存している他のがん腫にも応用が期待できます。

利用/用途

- ・ MET遺伝子変異を有する肺がん
- ・ MET遺伝子変異を有するその他のがん

知的財産権等情報		医学部 外科学	藤野智大、光富徹哉
特許出願	WO2022/180809	URL	研究詳細 https://www.kindai.ac.jp/
論文等	1編		

連絡先：近畿大学 リエゾンセンター(KLC)

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1
TEL：06-4307-3099 FAX：06-6721-2356

E-mail：klc@kindai.ac.jp
URL：http://www.kindai.ac.jp/liaison/